

令和5年度 海外インターンシップ報告書

長野県立大学 グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科 2年

| | |
|------|-------------------------------|
| 実習期間 | 2023年 9月17日(土) ~ 9月23日(土) 7日間 |
| 実習企業 | THAI DELICA CO., LTD. |
| 実習地 | チョンブリ, タイ |

1. 実習目的

Chapter1 purpose

- ①タイ進出の理由、タイでの業務内容の理解
- ②海外で働くことの難しさ、やりがいを聞く
- ③日本の本社との連携などに関わる問題を知る

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

株式会社デリカ

ホームページ:<https://www.delica-kk.co.jp/>

本社工場所在地:長野県松本市

主要製品:農業用トラクタと作業機を連結する3点リンク機構(国内市場シェア80%以上)

タイデリカ(株式会社デリカ完全子会社)

ホームページ:<http://thaidelica.net/ja/>

工場所在地:タイ王国チョンブリ県ピントン工業団地

主要製品:農業用トラクタと作業機を連結する3点リンク機構、その他機能・機構部品

3. 実習日程

Chapter3 schedule

- 9月17日 羽田空港→スワンナプーム空港→ホテルチェックイン
- 9月18日 タイデリカ様にて実習内容のオリエンテーション取引先企業様1社訪問
- 9月19日 取引先企業様2社訪問(トラクターメーカー、研究開発部門)
- 9月20日 取引先企業様2社訪問(サプライヤー)
- 9月21日 農場見学(トラクターメーカー様の農場)
- 9月22日 バンコク市内視察、コンサルタント会社様訪問
- 9月23日 スワンナプーム空港→羽田空港

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

- ・渡航前に松本本社にて企業概要の説明、打ち合わせ、工場見学
- ・タイデリカ様にて始業前に行われるミーティングの見学、タイの文化、政治、経済の状況について学ぶ
- ・タイデリカ様にて製品の製造工程の見学

- ・訪問先の企業様にて工場見学
→タイデリカ様の製品の供給元、供給先の工場見学
- ・訪問先の企業様にて海外駐在員の方々にお話を伺う
→企業概要をご紹介いただき、その後質疑応答
- ・タイの人々の暮らしを知り、日本とは違う文化の体験



5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

デリカ様のタイ進出の理由、タイでの事業内容の理解

・理解できた。渡航前に自分が予想していた海外進出理由とは全く異なる理由で驚いた。事業内容については製造している製品、製造ラインともに日本の本社工場とほぼ同じだった。

タイの経済状況について

・現在のタイはほとんど経済発展しきっている状態。それに伴い人件費も高くなり、コストカットが難しくなってきていることを教えていただきました。



海外で働くことのやりがい

- ・日本では経験できない仕事を担当できることがやりがいである、と多くの海外駐在員の方がおっしゃっていました。海外で働く場合、日本で働いているときよりも会社全体の進捗状況の確認・管理に注力する必要があるそうです。
- ・また、日本にいたらわからない新しい発見を得ることができる。

海外で働くことの難しさ

- ・一番は言語の違い。どの企業様にも通訳担当の方がいらっしゃったが、日本語とタイ語の細かいニュアンスの違いでうまく意思疎通が取れないこともあるそうです。
- ・うまくコミュニケーションをとるためにも英語や絵を使って工夫しているそうです。
- ・国民性の違い。タイの人々は“サバイ”（気楽にいこう、何とかなる）気質を持つ人が多い。きっちりやろうとする日本人とは意見が食い違うこともあり大変。

連携に関わる問題

- ・日本との時差が二時間あり、緊急の連絡が必要な時でも、日本の業務が終わっていて連絡が取れず、困ることもあるそうです。
- ・日本とタイのパイプ役。タイでの進捗が遅ければ全体のプロジェクトの進行を遅らせてしまうことも。全体の進捗状況の確認・管理を徹底する必要があるそうです。

成長したこと

- ・実習の内容ではありませんが、飲食店やスーパーで覚えたタイ語を使ってコミュニケーションをとってみました。私は今回が初めての海外だったため言語面が心配でしたが、思っていたより意思疎通が取れて自信が付きました。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

- ① 語学力をもっと磨くこと。取引先企業の方と英語を使ってお話しする機会がありましたが、緊張してしまって声が小さくなってしまいました。基本的な語学力の向上も大事ですが、相手に伝わりやすいような声の大きさ、ピッチ、抑揚をより意識していきたいです。
- ② 広い視野を持つこと。今回の海外インターンシップでは、一週間という短い期間でしたが、自分の将来やりたいことについてたくさん考えることができました。自分の興味のあることを追究することもよいですが、狭い視野の中にいると気付けないことがたくさんあることを学びました。一歩引いて視野を広く持つことを意識したいです。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

興味のある方にはとてもお勧めします。自分の将来を考える良いきっかけになると思います。ただし、目的をしっかりとって参加することをお勧めします。

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

株式会社デリカ様、タイデリカ様、大変お忙しい中私を海外インターンシップに受け入れてくださりまして、誠にありがとうございます。航空券やホテルの予約、他の企業様の訪問や食事などすべてを手配していただき、とても充実した素晴らしい経験になりました。この海外インターンで得た学び、気づきを今後の学生生活、就職、社会に出てからも大切にしていきたいです。貴社の益々のご発展を皆様のご活躍をお祈り申し上げます。